

4. 地域薬学人材養成教育拠点形成プログラム

本プログラムでは、国公立大学が全国8地区（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中・四国、九州・山口）における薬学人材養成教育を担う拠点として、地区内の大学及び医療関連機関との有機的な連携体制の構築し、これに基づいた学部・大学院における薬学人材養成教育の高度化・実質化、社会人教育・社会貢献活動の充実、改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習の実施体制の整備を行うことにより、地域における医療の充実・発展を推進する。

本プログラムは他の4プログラムとは異なり、本事業で国公立大学が開発・実施している教育研究プログラム等の地域さらには全国での推進を目的とするものであり、前事業の「先導的薬剤師養成アドバンスト教育プログラム」や本事業「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」の地域への普及や、地域医療の高度化に向けた連携教育研究事業の企画・推進、全国的な普及が挙げられる。これまで国公立19大学は、全国8地区においてそれぞれ地域の病院や薬局との連携のもとに、薬学実務実習を主導し、また地域医療の発展を担ってきた。本事業では、こういった連携体制と実績を基盤として、薬学人材養成教育を担う拠点の構築と教育研究プログラムの普及・定着による推進を目指すものである。

【2022年（令和4年）度】

<金沢大学>

○がん高度医療人材養成事業

- ・学部生、大学院生及び薬剤師を対象として、がん薬物療法における最新知識及び臨床現場からのエビデンス発信スキルの修得を目的とした研修会を実施した。

○金沢大学×野々市市おくすりプロジェクト

- ・野々市市との連携した事業で、1) 地域でサロンを開催し、ポリファーマシーの解消に向けた住民への知識啓蒙活動を行う、2) KDBを用いて野々市市におけるポリファーマシーの動向と関連要因を解析する。）

<岡山大学 >

○シミュレーション教育講演会及びシミュレーション演習（*）

- ・学部生と大学院生を対象として、九州保健福祉大学の徳永 仁教授を招聘し初日には薬学部教員のFDフォーラムも兼ねた講演会（対面とzoomのハイブリッド）を行い、翌日は鹿田キャンパス医歯薬学融合棟にある患者シミュレーター（SimMan 3G）を用いて演習を行った。実施日：令和4年8月29日(講演会)、30日（シミュレーション演習）講演会参加者34名、シミュレーション演習参加者 学部生4名（5年生1名、6年生3名）、大学院生1名、教員4名、薬剤部員2名

○地域密着型OTCカウンセリング研修（*）

- ・保険薬局での薬局実務実習では、十分な体験学修ができないOTC医薬品の基礎知識から来局者の症状等に合わせたOTC医薬品の選定までについて、講義、グループワーク、ロールプレイ等で理解を深めてもらう学生自主学修プログラムとして行った。実施日：令和4年12月19日、参加者 学部生（3～6年生）8名、帯同教員3名。

<広島大学>

○ 遺伝子検査セミナーの開催

- ・学部生及び大学院生を対象として、薬局薬剤師と大学の共同での遺伝子検査セミナーを実施した。人の遺伝子検査が簡易に行われるようになり、間違った認識を持つ一般市民が増えるなど問題が発生する中で、薬局薬剤師が関与することによってこの問題を解決することを目指し、一般市民への啓発活動を行った。
- ・漢方薬局も加え東洋医学的観点からの生活習慣指導を行った。

<熊本大学>

○ 熊本県医療人育成総合会議

- ・本学大学院薬学教育部の大学院生（博士課程3年）が「大学院生(薬剤師)が提案する"患者にも環境にもやさしい"持続可能な取り組み」と題し、カーボンニュートラル化社会と医療人育成に関する講演ならびにパネルディスカッションを行った。また、本学薬学部生・大学院生も多数参加し、議論に加わった。